

平成 20 年度 学校評価計画書

石川県立工業高等学校（定時制）

重点目標	具体的取組	主担当	現 状	評価の観点	実現状況の達成度判定基準	判定基準	備 考
1 学習成果の確認と全員卒業の達成	定期考査の欠席者を無くして、学習の成果を高める。	教科 教務	授業だけでなく年4回の定期考査まで無断欠席がある。	成果指標 定期考査の欠席をなくす。	定期考査の欠席者が A 10%以内 B 15%以内 C 20%以内 D 20%超	C・Dの該当者には個別指導を行う。	考査欠席者には追考査を実施
	退学者を出さず、在籍生徒全員の卒業を達成する。	担任 教務	今までは年度途中に退学者のいない年度はない。	満足度指標 退学者が出ず、全員が卒業する。	20年度在籍者6名の A 前期卒業3名を含む全員卒業 B 全員卒業 C 進路変更者あり D 退学者あり	C・Dのときは必ず三者面談を行い、充分な話し合いを持つ。	
2 基本的な生活習慣の確立とマナーの向上	遅刻の防止に努める。	担任 教務	全校平均で遅刻率が高く、遅刻は仕方がないという空気がある。	成果指標 遅刻回数を前年より減らす。	全校の遅刻率が A 10%以内 B 20%以内 C 30%以内 D 30%超	C・Dなら遅刻についての全体指導と併せて個別指導を行う。	年9回保護者に文書連絡
	欠席状況や生徒の就業状況等で問題行動の早期発見に努め、保護者と連携して解決にあたる。	担任 教務	全校の欠席率が高く、また仕事を短期間でかわる者がある。	成果指標 職場の協理解解をもとに欠席率を減らす。	全校の欠席率が A 10%以内 B 20%以内 C 30%以内 D 30%超	C・Dなら欠席についての全体指導と併せて個別指導を行う。	職場訪問の際に雇用主にアンケート
3 「楽しい学校づくり・思い出づくり」の推進	各種の学校行事に参加し、「楽しい学校づくり」に努める。	担任 教務	学校行事への参加率が少しずつ向上してきている。	成果指標 自分たちの学校行事という意識で参加する。	年間の行事参加率が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	C・Dなら改善策を検討し、併せて個別指導も行う。	